



米商進路だより

令和4年7月19日発行
山形県立米沢商業高等学校
進路指導部（第7号）

《 キャリア教育！定番のその先へ！ 》

6月中旬以降大学・短大・専門学校の皆様の訪問等が相次ぎ、7月1日以降は求人票が解禁となり、企業の学校訪問がスタートいたしました。各企業とも30分以内を努力目標としながらも、様々な情報交換をすれば時間がかかります。来客が多い日には、1日で15社を先生方で対応させていただきました…。各企業の採用意欲が強く、今年は間違いなく“売り手市場（高校生有利⇒チャンスあり）”です。

さて、企業の皆様と対応して驚いたことは、本校の「進路だより」をダウンロードして勉強している採用担当者が多いことです。ある企業の採用担当者は、全国各地を転勤することが多く、令和4年1月に米沢に赴任したそうです。学校情報を得るには、学校のWebを見て研究をされることが多く、本校の「進路だより」をダウンロードして、本校に訪れたことをお伺いして勉強していることに大変驚きました。

ところで、3年生にとっては勝負の夏休みですから、体調管理には十分注意をして、面接や作文、履歴書の作成等をしっかりとすることが求められます。売り手市場と言っても、各企業によって採用人数が決まっていますので合格するためには、各企業の採用試験を突破しなければ「合格内定」をいただくのは難しいのです。受験報告書等を参考にするのも一つの方法だと考えています。

6月下旬から7月上旬にかけて各学年でキャリア教育を実施いたしました。1年生は6月29日（水）に合同企業説明会を開催し置賜地方にどんな企業があるのか理解を深めました。この日は3年生にも参加をいただきましたが、1年生のワクワクワクワク、2年生の企業見学等を通じて名前を知ることができた企業があり、求人票を閲覧するときの一助になっていた人が多いことは嬉しい極みです。



6月29日実施合同企業説明会の様子（企業の皆様のプレゼンが大変上手です！！！！）

《 2年生 置賜の企業「魅力発見バスツアー」 》

皆さん「アントレプレナーシップ (entrepreneurship)」という言葉を知っていますか。略して「アントレ」等と呼ぶときがありますが、本来の意味は「新しい事業を創造し、リスクに挑戦する姿勢」のことです。つまり、自分でゼロから事業を起こそうとする精神を持つ人や、将来的に起業したいと考えている人のことを、アントレプレナーシップを持つ人々と呼ぶときがあります。

7月6日(水)に置賜管内の18社の企業見学をさせていただきました。その後、本校を訪れてくれた採用担当者からは「質問の内容に驚いた(会社の強みは何ですか???)」「是非、我が社に入社してほしい」等の声がありました。ある企業では、勤労意欲を高めるために従業員の給与を一律にアップしたところもあり、何とかいい「人財」を確保するために必死の様子が伝わってきました。

バスツアーの目的は、高校卒業後に就職を考えている人だけでなく、進学者で卒業後にUターンをしたときに、企業の名前を記憶に刻み込むこともねらいとしています。日ごろ教室で受けている授業の内容は、“習うより慣れろ”の日々であり、とかく疲れやすいものです。しかし、企業を訪れることは新たなことの連続であり、見たり・聴いたり・体験することで記憶に残ることが多くなると確信しています。



上段：企業見学の様子 下段：発表会（プレゼン）の様子

《 感想 》

- 質疑応答の際に、自分が相手に伝わりづらいあやふやな言葉を使って質問してしまいましたが、意図を汲み取って、わかりやすく説明をしてくださり、自らの伝える力の無さを恥じるとともに、優しく対応して下さった職員さんの姿勢に感動しました。
- やはり食品を扱う企業だけあって当然のことながら衛生面を徹底していることが素晴らしいと思いました。髪をしっかり全部しまつて肌を出さずにしゃべらない、見えるのは目だけで、見ていて素晴らしいと感じました。企業の理念にも、客に安全に食べてもらいたいという願いが込められていたので、安全のためにここまで頑張っていて尊敬しました。